

2021
わくわくスクール

スクールサポートいりご

図書ボランティア

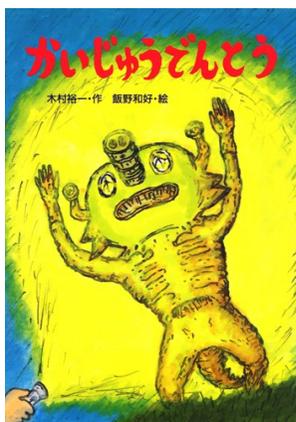
本の紹介

低学年
向き

みなさん、夏休みに読みたい本は決まりましたか？
図書ボランティアのオススメの本を紹介します。
参考にしてみてくださいね。

『かいじゅうでんとう』
木村裕一 作
あかね書房

しょうたくんが、拾った懐中電灯をつけると、目の前にへんてこなかいじゅうがあらわれました。かいじゅうは、しょうたくんの悩みを解決して…クイズとダジャレでくすくす笑える本です。



『きのうの夜、おとうさんがおそく帰った、そのわけは……』
市川宣子・作
ひさかたチャイルド

あっくんのおとうさんは、なかなか帰ってこない日があります。そんな夜、おとうさんはどこで何をしているのでしょうか？
負けず嫌いな子供のようなお父さんに、気分ほっこりです。

『ぼくは王さま』
寺村輝夫 作
理論社

「そうのたまごのたまごやきが食べたい。」など言う、わがままな王さまのお話です。
どこのお家にもいそうな・・・？
まるでみんなみたい！？



『すいかのたね』
さとう わきこ さく・え
福音館書店

ばばあちゃんが、すいかの種をまくと、動物たちは何かいいものをかくしたと思いこみました。さて、すいかの種はどうなるかな？



『ともだちごっこ』
内田麟太郎 作
偕成社

本当のともだちって何だろう？
と考えることができるお話です。



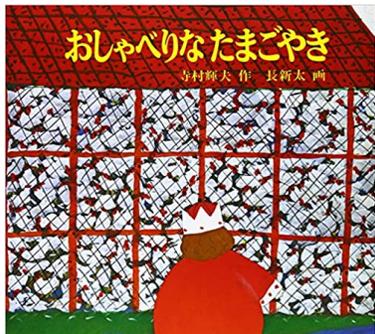
『こねこの美容室』
なりゆきわかこ 作
ポプラ社

みほは駅前のおしゃれな美容室へ行きたいのですが、お母さんが許してくれません。
そんなある夜、いきつけの美容室の飼猫のモモがみほにお願いにやってきました…。
ねこのモモとみほちゃんの、心にしみ入る感動の物語です。

低学年 向き

『おしゃべりなたまごやき』

寺村輝夫 作 福音館書店



ある国の王様のお話です。
お城では、テレレツテ トロロツト
ブルルツプ タアー♪ とラツパが
鳴り響き、王様が生活しています。
そんな時、事件が起こります。
この本は、私が小学1年の時に担任の先生が
よく読んでくれた思い出の本です。何度読んで
も面白いので、是非読んでみて下さい。

『めっきらもっきらどおんどおん』

長谷川節子 作 ふりやなな 画 福音館書店

かんたが、めちやくちやの
歌をうたうと、
夜の山に着き、おかしな3
人に会いました。
みんなも、めちやくちな
歌をうたって、
不思議な世界に行けるとい
いですね。



中学年 から



『ふしぎ古書店(全7巻)』

にかいどう 青 作
講談社 青い鳥文庫

福の神がやっているふしぎな
古本屋「福神堂」で、福の神
の弟子となった女の子が成長
していくお話です。
読んでみてくださいね。

『うつくしい絵』 かこさとし 作 偕成社

まるで美術館に行ったような気分になります。

世界の巨匠たちが描いた美しい絵を一枚ずつ丁寧に
解説されています。ダ・ビンチ、ゴッホ、レーピン、
北斎、ピカソなどの作品を通して、巨匠たちの人間像
を知る事ができる深いおすすめの本です。

全てにふりがながついていて読みやすいです。
中学年くらいからおすすめしますが、絵が好きなお
子さんへの読み聞かせや保護者の方々へもおすすめで
す。



『いたずらおばあさん』

高樓方子・作 フレーベル館

エラババ先生は洋服の研究者。
ある日、一枚着ると一歳若くなれる
不思議な服を発明します。
その服を着て、84歳から8歳に若
返ったエラババ先生と、生徒さんの
ヒョコルさんは、数々の楽しいいた
ずらをします！
思わず笑ってしまうこと間違いな
しです。



『小さな山神スズナ姫』

富安陽子・作 偕成社

山神のひとり娘のスズナ姫は今年三百歳。
お父さんの元を離れ、山神として一人立ちし
ようと考えます。スズナ姫は、アマノスズシ
ロという自家用雲にのって、勇んでスズナ山
に向かいます…。

山神様の世界に引き込まれ、どんどん読み
たくなる本です。シリーズで4冊あります。



中学年 から

『走れ！飛べ！小てんぐ 三郎』

広瀬寿子・作 あかね書房

夏休みに、宏平と修はてんぐを調べに長野の戸隠山へ行きました。そこで「おれは飯綱三郎だ」と名の不思議な少年に出会います。

二人が出会った小てんぐ三郎の正体とは…。

夏休みのドキドキする不思議な体験を描く本です。最後まで一気に読みたくなります。



『怪人二十面相』

江戸川乱歩 作 ポプラ社



怪人二十面相と明智小五郎、少年探偵団の推理対決に引き込まれます。

このポプラ社の文庫版は、子どもの手に持ちやすく、通常の文庫より少し大きめの絶妙なサイズです。

旧仮名づかいが現代仮名づかいに変更されていたり、難しい漢字をひらがなにされているので、子どもに読みやすい本で全26巻あります。

サバイバル以外手にしなかった子どもが、読み物を読むきっかけになりました。

親子で読んでみてはいかがでしょうか。

『54字の物語』

氏田雄介作 PHP

一つのお話が、なんと54字で終わる短編小説集です。

じっくりと本を読むのが苦手だったり、時間がない時にも読める本です。

想像力を働かせて読んでみてください。物語の虜になること間違いなし！

自分でお話を作ってみたくなるかもしれません。

次のページの解説を読むと、ゾクゾクするようなよくできたお話もたくさん載っていますよ。



高学年 から

『星の王子様』

サン＝テグジュペリ作 ポプラ社

星が好きだったのでタイトルに“星”が入っているこの本をよく読んでいました。

みなさんも読んでみてください。



『冒険者たち』

斎藤 惇夫 作 岩波少年文庫

この本は息子が小五の時に初めて読んだ長編小説です。

台所の床下に住んでいた主人公のドブネズミのガンバが15匹の仲間たちと海に出て冒険を始めます。途中で出会う鳥や島ネズミと一緒に獰猛(どうもう)な白イタチと戦うお話。

ドキドキわくわくするようです。

読んでみてほしいね。



たたかう植物: : 仁義なき生存戦略

稲垣 栄洋 作 ちくま新書

じっと動かない植物の世界。しかしそこにあるのは穏やかな世界とは程遠いようです。

昆虫と病原菌と人間と。苛酷なバトル・フィールドに大接近! 多様な生存戦略に迫ります。

